

平成28年度 子供ゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 鹿屋体育大学との連携による おおすみくん家 スポーツキャンプ～野球～

- 1 趣 旨 鹿屋体育大学との連携協力協定に基づき、高度な測定機器による諸調査を実施し、その結果を踏まえたトレーニング法によるスポーツ技術の向上を図ることにより、青少年の自立を支援する。また、事業を通し子どもゆめ基金の普及啓発を図る。
- 2 期 日 平成28年7月2日（土）～3日（日） 1泊2日
- 3 対 象 者 中学校の軟式野球チーム及び指導者、保護者
- 4 募集定員 100人
- 5 参 加 者 113人（中学生のみ）
顧問等14人 保護者等10人
鹿屋体育大学関係者42人（監督・部長2人 野球部員40人）
- 6 指 導 者 国立大学法人 鹿屋体育大学野球部監督 藤井 雅文 氏
国立大学法人 鹿屋体育大学野球部部長 前田 明 氏
国立大学法人 鹿屋体育大学野球部員
国立大隅青少年自然の家 職員



7 日程と主な活動

自分の力を知ろう！			技術の向上をめざそう！		
日	時 間	活 動 内 容	日	時 間	活 動 内 容
7 月 2 日	8:15	受 付（鹿屋体育大学）	7 月 3 日	6:00	起床・清掃・荷物移動
	8:30	出会いのつどい（開講式）		7:00	朝のつどい
	8:50	ウォーミングアップ		7:30	朝 食
	9:15	測 定 1		8:00	鹿屋体育大学へ移動
	12:00	昼 食		9:00	野球教室 1
	13:00	測 定 2			※バッテリー・内野・外野別に
	16:00	練習終了 大隅青少年自然の家へ移動			実施
	17:00	オリエンテーション		12:00	昼 食
	17:30	入 浴		13:00	野球教室 2
	18:30	夕 食		15:40	練習終了
20:00	中学生：学習室にて自主学習 指導者：野球に関する学習会	16:00	わかれのつどい（閉講式）		
22:00	就 寝		解 散（鹿屋体育大学）		

8 事業運営について

- (1) 鹿屋体育大学との連携により、鹿屋体育大学硬式野球部と日程等を調整し、これまで地元の中
学校からニーズの高かった野球に関するスポーツキャンプを実施することとした。
- (2) 昨年、鹿屋体育大学に設置されたスポーツパフォーマンス研究棟内で、体力やスポーツ能力に
関する測定を行い、そのデータを生かした練習ができるように配慮した。

- (3) 野球教室では、少人数のグルーピングを行い、中学生一人一人が大学生の一流のプレーを間近で見たり、アドバイスを受けられたりできるよう配慮した。
- (4) 鹿児島県下、各学校において学力の向上が課題となっている今、夜間、各自の宿題等を行う時間と場所（学習室）を確保した。



9 事業の実際

- (1) 「測定1・2」では、鹿屋体育大学スポーツパフォーマンス研究棟内で、9種類の体力・スポーツ能力等の測定を行った。大学生1人に中学生3、4人のグループを28組設定し、各自の記録カードに沿って、グループ単位で行っていったため、中学生が飽きることなく効率的に進んでいった。
- (2) オリエンテーションでは、鹿児島市内からの参加者を中心に初めて利用する中学生が多かったため、寝具の使い方や食事の際の注意、活動時間の設定等、丁寧に説明した。
- (3) 夜間の自主学習の時間には、子供たちは自分の宿題や課題を持ち寄り、静かに学習していた。中学校野球部顧問と体育大学指導者は、野球の技術向上や練習方法の工夫等について話し合うことができ、有意義な時間となった。
- (4) 「野球教室1・2」では、中学生を「バッテリー希望」と「内野希望」、「外野希望」に大きく分け、中学生は野球場内に設定した「バッティング」「走塁」「守備」「ピッチング」の練習会場を回り、それぞれに全体指導や個別指導を受けていた。
- (5) 両日、体育大学硬式野球部監督及び部長はもちろんのこと、3人のマネージャーを含め、40人の野球部員に、笑顔で懇切丁寧に中学生一人一人を指導していただいた。



10 参加者の感想

- 測定する機械とか、とても精密だなと思いました。教えてもらった練習法などをしっかり生かしていきたいです。たくさん他校の人とも会話でき、とても良かった。(中学生)
- 新チームスタートの時期なので、チーム力向上、個人の技術向上にとっても有効である。また、宿泊を兼ねての日程なので、マナー一面も意識することができるので良い。(中学校野球部顧問)



11 成果

- 体力・スポーツ能力等の測定は、3、4人の小グループで実施したことにより、効率よくゆとりを持って実施することができた。
- 野球教室では、「希望ポジションごとの練習が個人及びチームの課題克服につながる」といった意見が出され、中学生及び野球部顧問共に満足度が高かった。
- 鹿屋体育大学硬式野球部と連携したスポーツキャンプを実施できたことで、さらなる連携が深まり、継続した事業が実施できる。